

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	保健衛生推進事業	会計	一般会計	事業No.	264	施策順No.	32-005
		事業種別	政策・その他	予算科目	4-1-1-11-1		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	保健課		
施策	32 医療の充実			事業期間	開始	S55	終了

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	飯伊地区包括医療協議会						A十分達成したBどちらかといえれば達成したCどちらかといえればできていないDほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
		飯田市及び下伊那郡の住民(人口)		171966	170577	169303	173000	
		医療を包括して計画・立案し推進する機関の数		1	1	1	1	
意図	医療に関わる各種事業の充実のため活動している飯伊地区包括医療協議会と行政が一体となり、救急医療体制などの充実を図る							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	飯伊地区包括医療協議会「地域大規模災害医療救護計画」の策定状況(策定済みの場合は100%)	100	100	100	100	100	100	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	救急医療体制を充実させるため、災害時の計画策定及び訓練を実施し、目的は十分達成した。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	飯伊医療圏における救急医療体制の調整役とし、包括的に医療事業を行う事の出来る飯伊地区包括医療協議会を設置して、医療体制の充実を図っている。 地域中核病院として、自治体設置の病院の開設者で組織する団体(自治体病院開設者協議会)への活動補助を行い、飯伊の医療病院として先進的によりよい医療の提供が出来るようにしている。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 大規模災害を想定した全医療機関が参加する救急医療訓練の実施 2 健康手帳(乳幼児・幼保・就学前対象)の交付 3 産科医等確保支援事業 4 産科問題懇談会	1 実施回数 3 支援医療機関	1 1回 3 3医療機関
23年度実施計画	1 大規模災害を想定した全医療機関が参加する救急医療訓練の実施 2 健康手帳(乳幼児・幼保・就学前対象)の交付 3 産科医等確保支援事業	1 実施回数 3 支援医療機関	1 1回 3 1医療機関

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (県)産科医等確保支援事業補助金(1/3・2/3) (そ)諸収入(飯伊地区包括医療協議会、町村負担金)
	国庫支出金					
	県支出金		5,402	5,066	2,666	
	起債					
	その他		1,598	1,598	1,590	
一般財源		10,625	6,128	5,886		
計(A)		17,625	12,792	10,142		
正規職員所要時間			300			
臨時職員等所要時間						
人件費計(B)			1,073			
トータルコスト A+B			13,865			

4 事業に対する市民や議会の意見

議会において、包括医療協議会の活動について紹介し、地道な活動を評価する意見が出された。(19年第1回議会) 飯伊地区包括医療協議会では、かかりつけ医を持つ意識を住民啓発するため、毎年、「医療ガイド」や「こどもの急病」等のパンフを作成して配布。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	医療が必要な人が必要な医療を受けられる。	施策の成果指標又はムトス指標	かかりつけ医を持つ市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	救急医療体制を維持するための活動を行う、飯伊地区包括医療協議会への支援を行い、地域の医療のあり方を考えながら、必要な医療を受けられるための活動を行ってきた。		必要な医療が受けられていると感じる市民の割合
	後期に向けた課題	地域の医師確保、及び救急医療体制を維持し、必要な医療を受けられるように、地域医療のあり方を引き続き考えていく。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	飯伊地区包括医療協議会が作成した、医療ガイド(お医者さんの上手なかかり方)を全戸配布		
	後期に向けた課題	医療に対する市民ニーズは拡大しており、成果を求められている。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	包括医療協議会への負担金について減額の調整		
	後期に向けた課題	包括医療協議会の体制維持		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	包括医療協議会の活動による受益者は郡市民であり、飯田市と町村との利用者数に基づく率により、郡内町村から負担金を徴収している。		
	後期に向けた課題	引き続き、飯田市と町村との利用者数に基づく率により、郡内町村から負担金を徴収する。医師等の確保について、政治的にも対応が求められる。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	① 飯伊地区包括医療協議会 — 具体的な活動 ② 包括医療協議会との調整		
	後期に向けた課題	飯伊地区包括医療協議会を始めとし、三師会、関係者を含め、体制の維持及び協議が必要。		
全体を通じて	4年間の振り返り	飯伊地区包括医療協議会を中心に、救急体制の整備や地域の医療のあり方を考えながら、必要な医療を受けられるための取り組みを行ってきた。		
	後期に向けた課題	地域としての医師等確保、及び医師支援。 地域の安心安全の確保のために、救急医療体制を維持していく。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--